

平成29年度大阪府自主防災組織リーダー育成研修 講義資料

# 災害への備えについて

大阪府危機管理室

# 講義の要点

- ① **豪雨災害について  
九州北部豪雨及び大阪の水害**
- ② **地震災害について  
南海トラフ巨大地震の被害想定等**
- ③ **自助・共助の重要性と自主防災組織**
- ④ **府民の皆さまにお願いしていること**

# ① 豪雨災害について

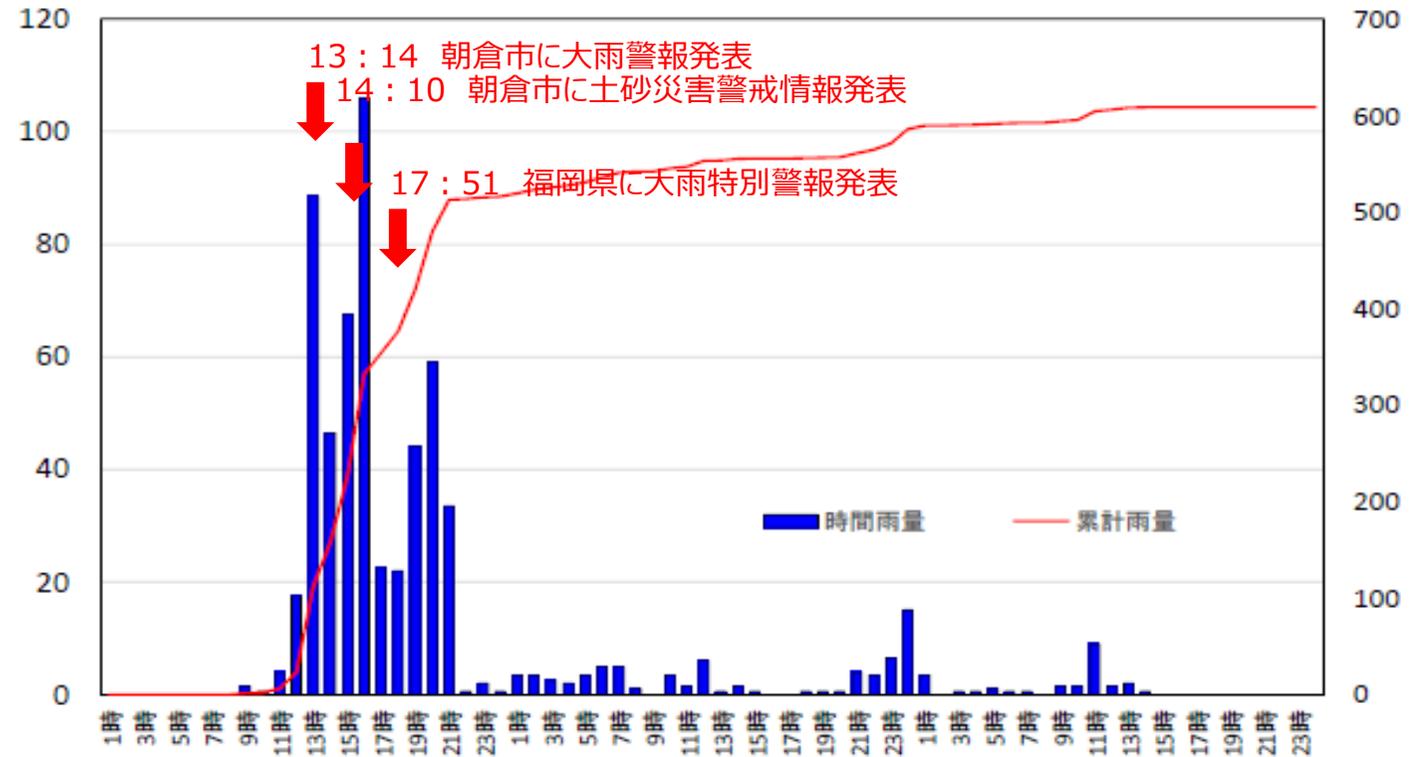
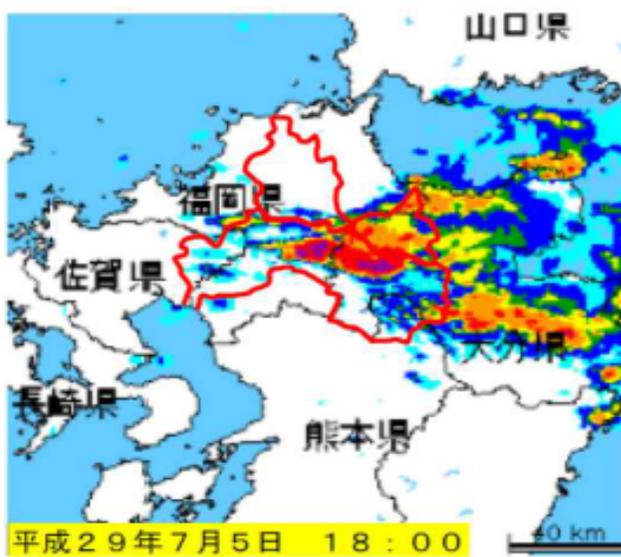
## 九州北部豪雨及び大阪の水害

# 梅雨前線及び台風3号による降雨の概要 (7/5~6)

1時間に80mm以上の雨は大規模な災害が発生するおそれ強い

平成29年7月5日から6日にかけて、梅雨前線や台風3号の影響により、西日本で記録的大雨となった。福岡県朝倉市、大分県日田市では最大24時間降水量が統計開始以来最も多くなり、福岡県、大分県は特別警報が発表された。

地点名	最大24時間降水量	最大1時間降水量
福岡県朝倉市朝倉	545.5mm (~6日11時40分)	129.5mm
大分県日田市日田	370mm (~6日10時50分)	87.5mm



福岡県朝倉市朝倉地点 (7月5日0時~6日24時) (※国土交通省ホームページより引用)

※台風3号が7月4日午前九州を通過。台風通過直後であり油断があった。(大分県職員より聞き取り)

# 現地の被災状況



大規模崩壊による土砂ダムと孤立集落  
(一級河川小野川)

斜面長約300m

幅約200m

(※国土交通省ホームページより引用)



大量の流木・土砂による河川閉塞  
(一級河川白木谷川)

# 地区単位防災マップ°（朝倉市の取組み）

住民参加型のワークショップ形式による自主防災マップを作成していた（H26完）

避難所が遠く、避難が難しい場合は、付近の安全な住宅を「**地元自主避難所**」として活用した例もあった。



# 地区単位防災マップ<sup>o</sup> (朝倉市山田)

## 朝倉地区自主防災マップ (対象：水害，土砂災害)

このマップは、地域の住民の皆さんに参加していただき、意見を話し合いながら地域と行政の協働で作りに上げていくワークショップ手法により作成しました。

※ 災害によっては、実際の浸水等の状況が異なる場合も考えられます。いざというときにあててこないよう、避難場所や避難経路、家族や近所の方々の連絡先などを日頃から確認しておきましょう。

住民意見で「決壊した場合  
浸水の恐れあり」と記載

決壊したため池

流木 (写真)

**凡例**

浸水想定区域 (筑後川)  
 想定した場合に想定される水深  
 想定雨量：48 時間 521mm

- 0.5m 未満の区域
- 0.5 ~ 1.0m 未満の区域
- 1.0 ~ 2.0m 未満の区域
- 2.0 ~ 5.0m 未満の区域

**土砂災害警戒・特別警戒区域**

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

**危険箇所**

※ ワークショップの中で出された意見です。

- 特に浸水のおそれがある箇所
- 河川・水路沿いで特に浸水のおそれがある箇所
- 特に土砂災害のおそれがある箇所
- がけ近くで特に土砂災害のおそれがある箇所
- 堤が決壊した場合に浸水のおそれがある箇所

**避難所**

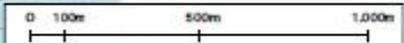
避難所

※ 避難所は、災害時に避難する場所であり必ずしも安全な場所とは限りません。また、そのほか、安全な場所を指定しますので、ご確認ください。

**その他**

- 高速道路
- 国道
- 県道
- 地区境界

平成26年3月発行  
 朝倉地域コミュニティ協議会自主防災会・朝倉市役所  
 【このマップに関するお問い合わせ先】  
 朝倉市役所 総務課 防災対策課  
 TEL: 0945-22-1111 FAX: 0945-22-0418  
 Email: syinbou@city.asakura.lg.jp



(※朝倉市ホームページより引用)

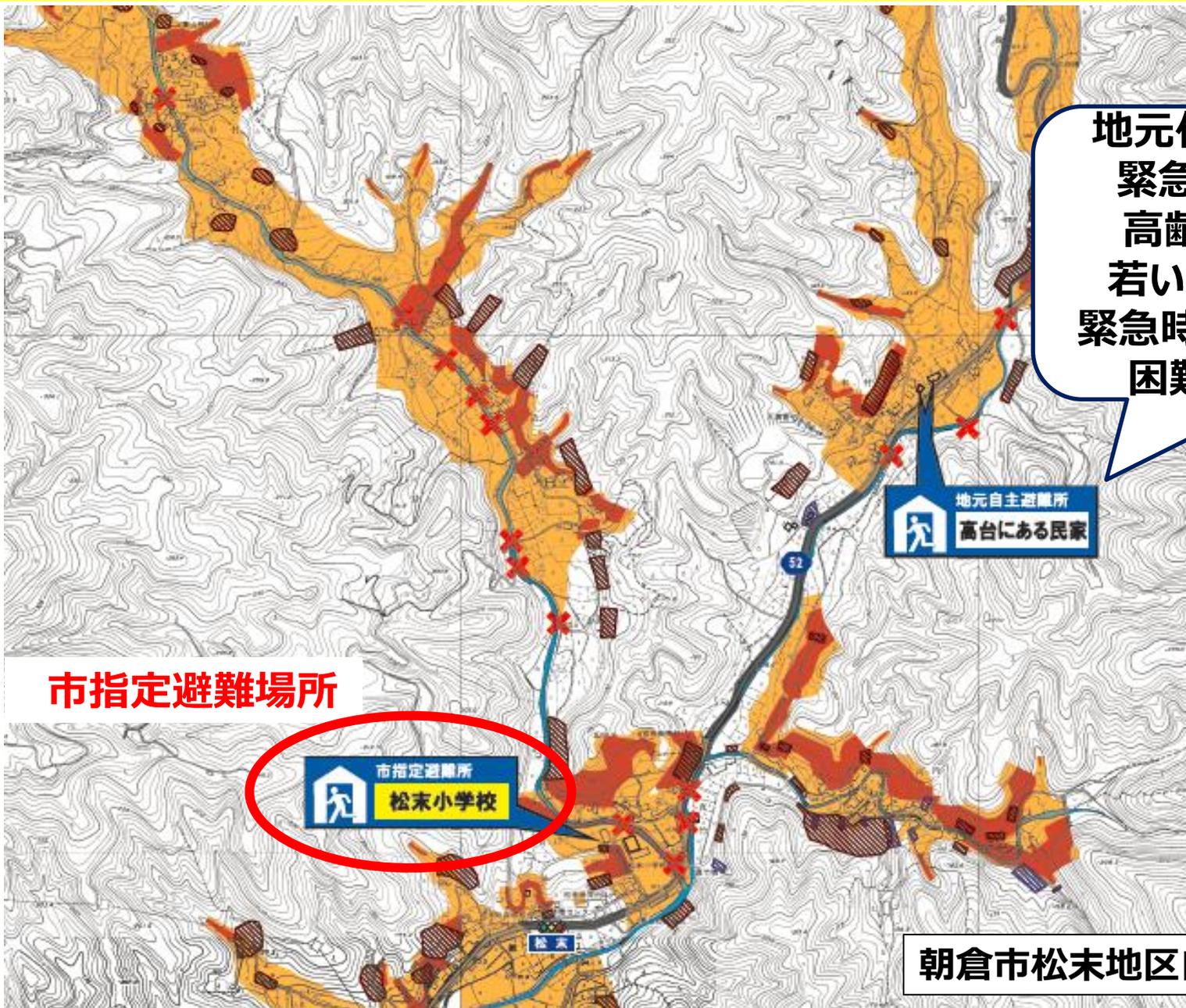
# 現地の被災状況（福岡県朝倉市山田）



ため池決壊による大量の流木流出

(※府職員撮影)

# 地元自主避難所について



地元住民により開設される  
緊急時の自主避難所。  
高齢者の多い集落や、  
若い人がいない日中は、  
緊急時に避難所への移動が  
困難となることもある。

朝倉市松末地区自主防災マップより

# 自然災害(豪雨災害)―大阪周辺で発生した豪雨災害―



平成25年9月 天見川 (河内長野市)



平成25年8月 上の川 (吹田市)



【平成26年度】8月15日からの大雨  
京都府福知山市の浸水状況



淀川水系桂川 出水状況  
(京都市嵐山地区)

渡月橋

桂川

9月16日午前9時頃の渡月橋

【平成25年度】台風18号 淀川水系桂川出水状況 (京都市嵐山地区)

# 自然災害（土砂災害） —大阪で発生した土砂災害—

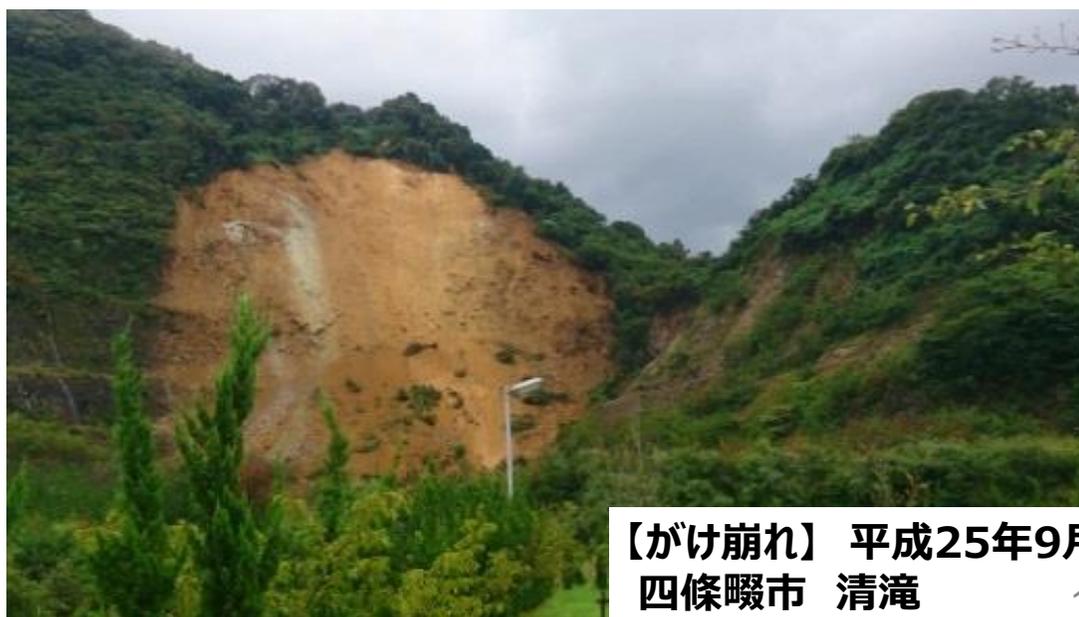
【がけ崩れ】平成25年4月  
柏原市 鷹田尾畑



【がけ崩れ】平成25年9月  
豊能町木代



【土石流】平成25年9月  
交野市 前川第一支溪



【がけ崩れ】平成25年9月  
四條畷市 清滝

# 自然災害（台風と高潮） —過去の3大台風—

## 台風経路

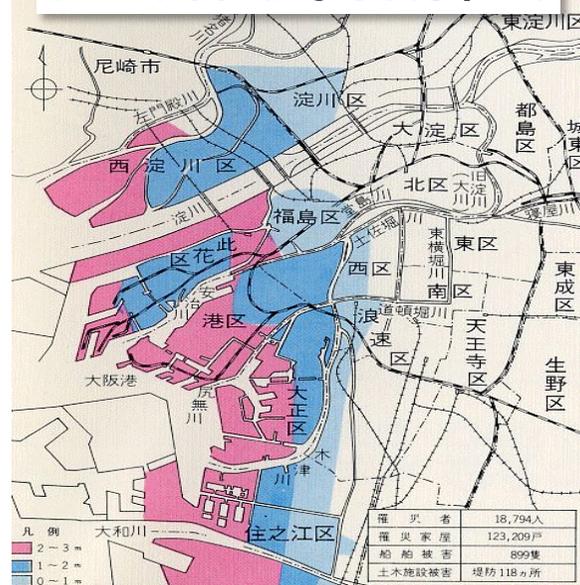


項目	室戸台風	ジェーン台風	第2室戸台風
年度	昭和9年	昭和25年	昭和36年
気圧 (hPa)	955	970	937
総雨量 (mm)	22	65	43
潮位 (O.P.+m)	4.2	3.85	4
浸水面積(ha)	4,291	5,625	3,100
浸水家屋計(戸)府下	166,720	80,464	126,980
罹災者数(人)	17,898	21,465	2,165
死者数(人)	990	221	7

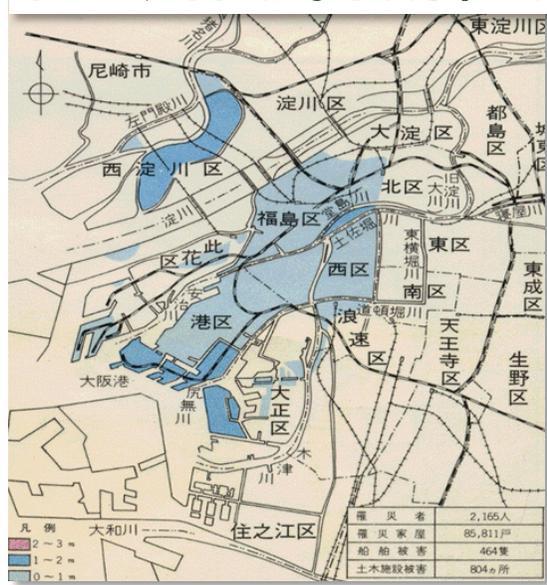
## 室戸台風による浸水区域



## ジェーン台風による浸水区域



## 第2室戸台風による浸水区域



### 【浸水深凡例】

- 2~3m
- 1~2m
- 0~1m

# 自然災害（台風と高潮） —大阪に上陸した3大台風—

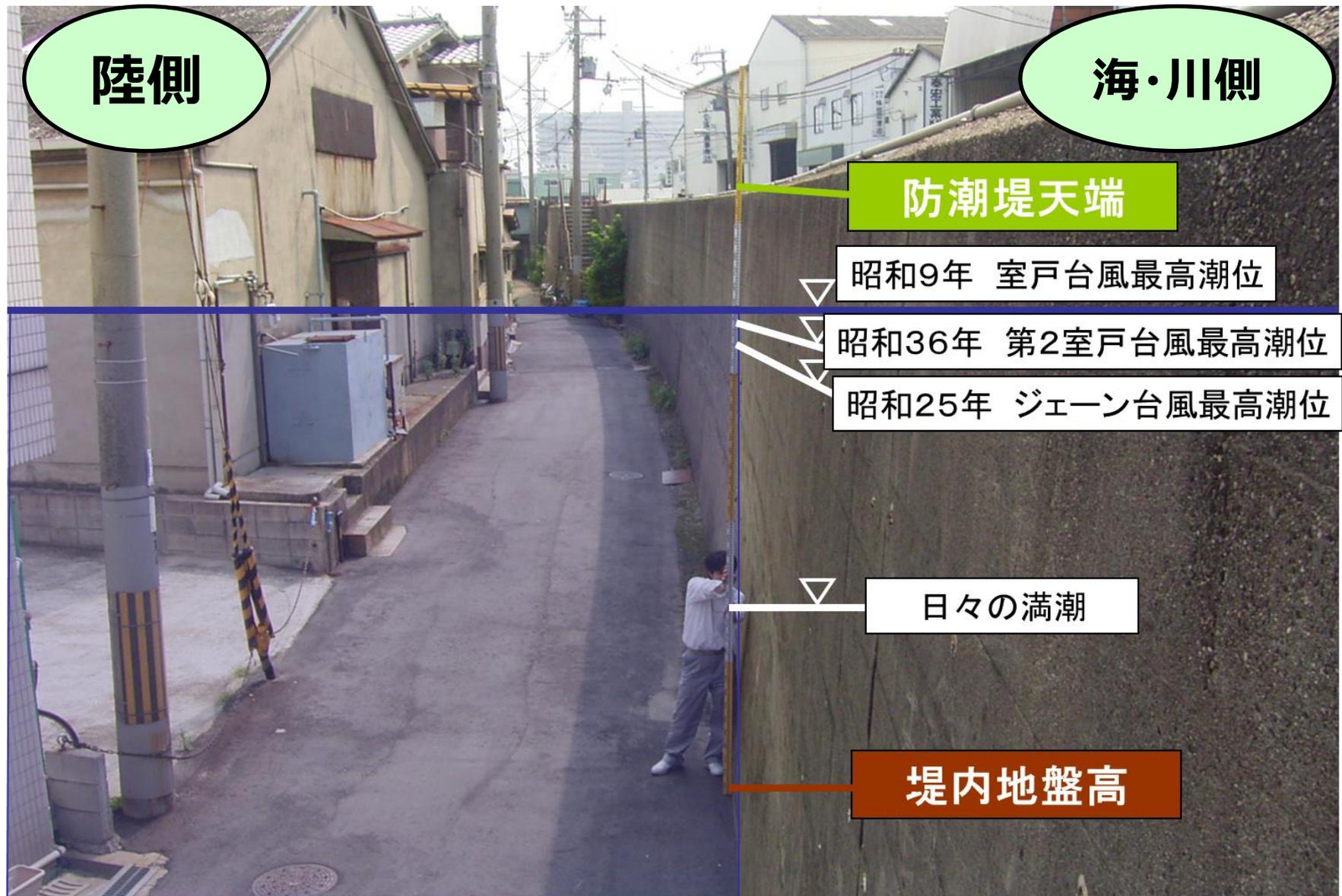


ジェーン台風による被害状況 大阪市港区市原付近



第2室戸台風による被害状況 大阪市北区中之島

# 自然災害（台風と高潮） —大阪に上陸した3大台風—

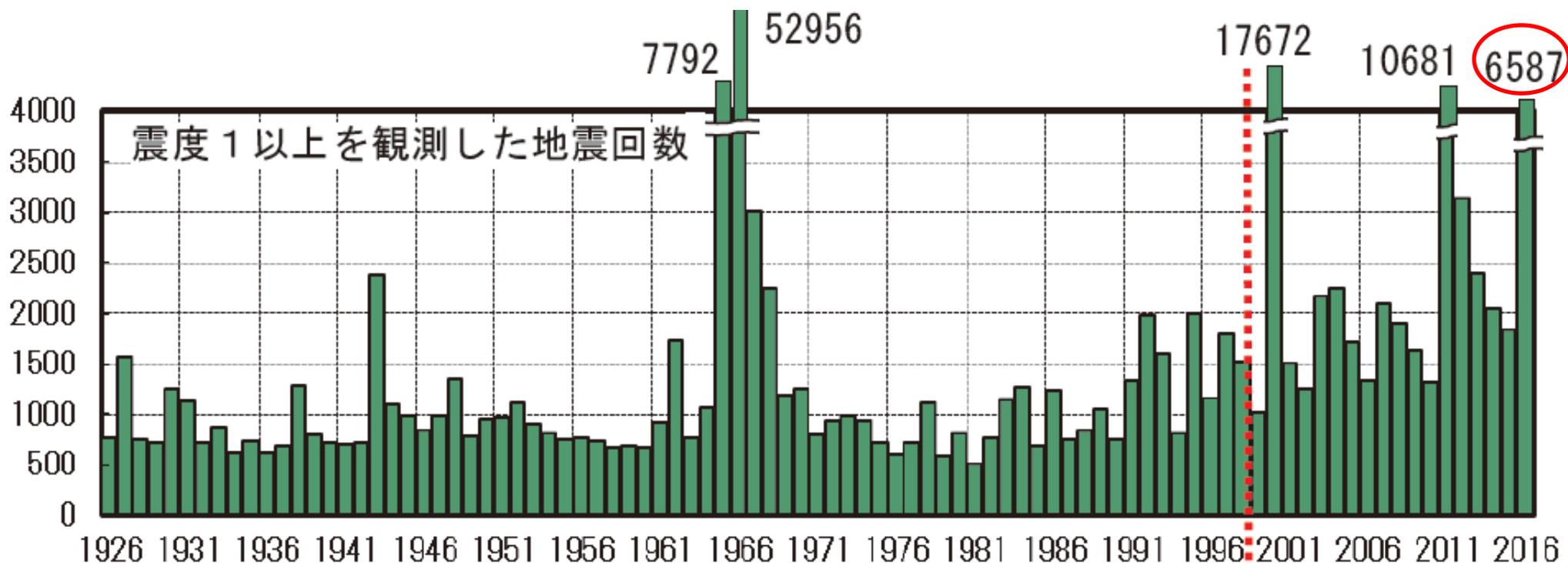


## ②地震災害について 南海トラフ巨大地震の被害想定等

# 2016年に日本で発生した地震（震度5以上）

33

回

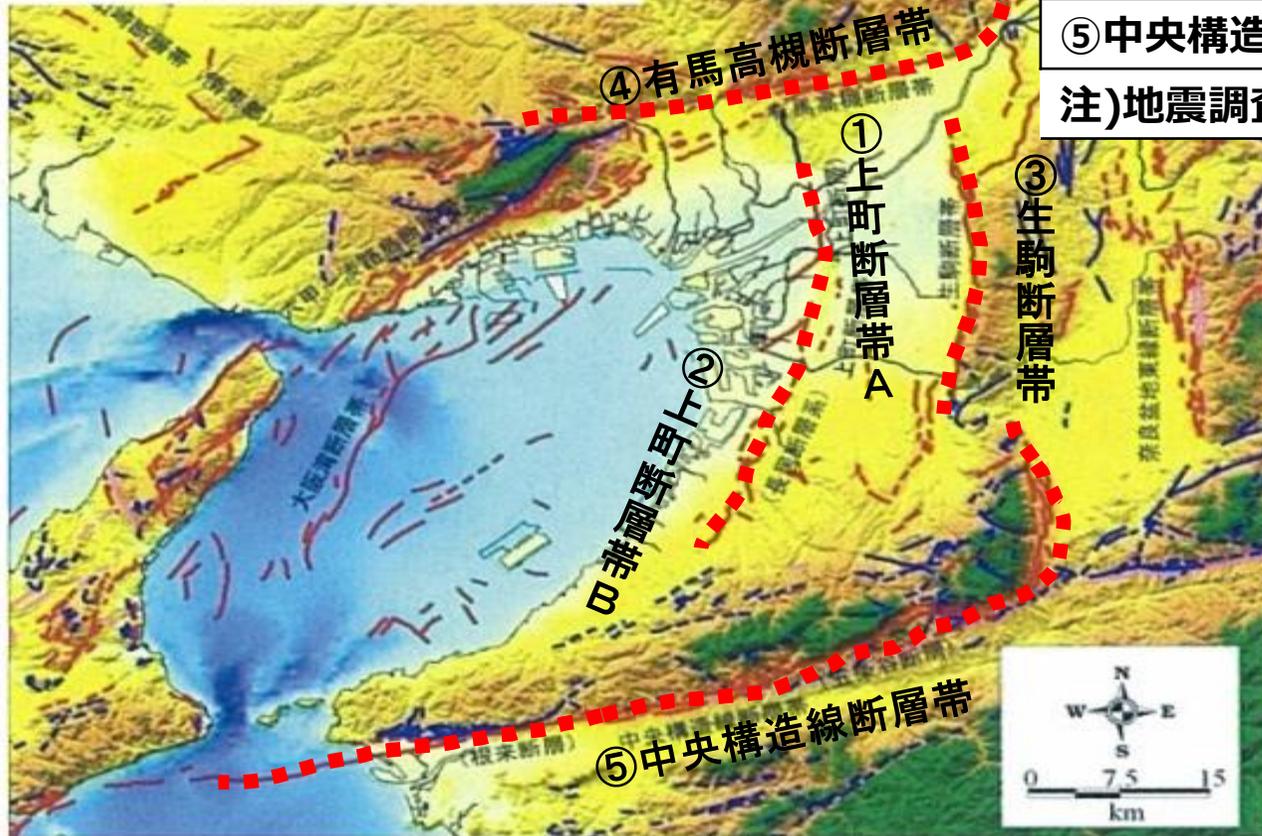


また、震度1以上の地震も過去10年では2番目に多い(6587回)

# 大阪府における直下型の想定地震

## 府域と周辺の活断層

- 凡例
- 活断層(伏在断層を含む)
  - 断層(30万年以前にのみ活動)
  - 破線: 推定されるもの



『近畿の活断層』[岡田・東郷編,2000]などにもとづく

想定地震	今後30年以内の発生確率
①②上町断層帯	2~3%
③生駒断層帯	ほぼ0~0.2%
④有馬高槻断層帯	ほぼ0~0.03%
⑤中央構造線断層帯	0.07~14%

注)地震調査研究推進本部(基準日:2016.1.1)

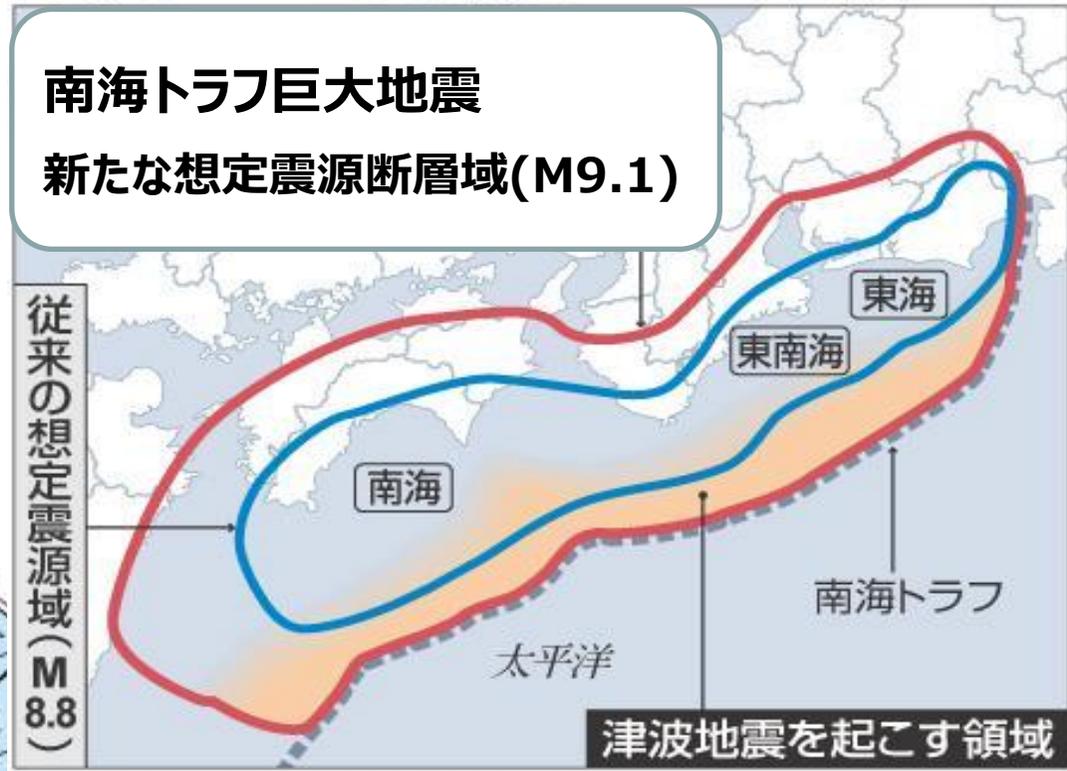
参考)  
野島断層を含む六甲・淡路断層帯の  
阪神・淡路地震発生前の確率  
: 0.02~8%

# 南海トラフ巨大地震の想定震源域

南海トラフ巨大地震

新たな想定震源断層域(M9.1)

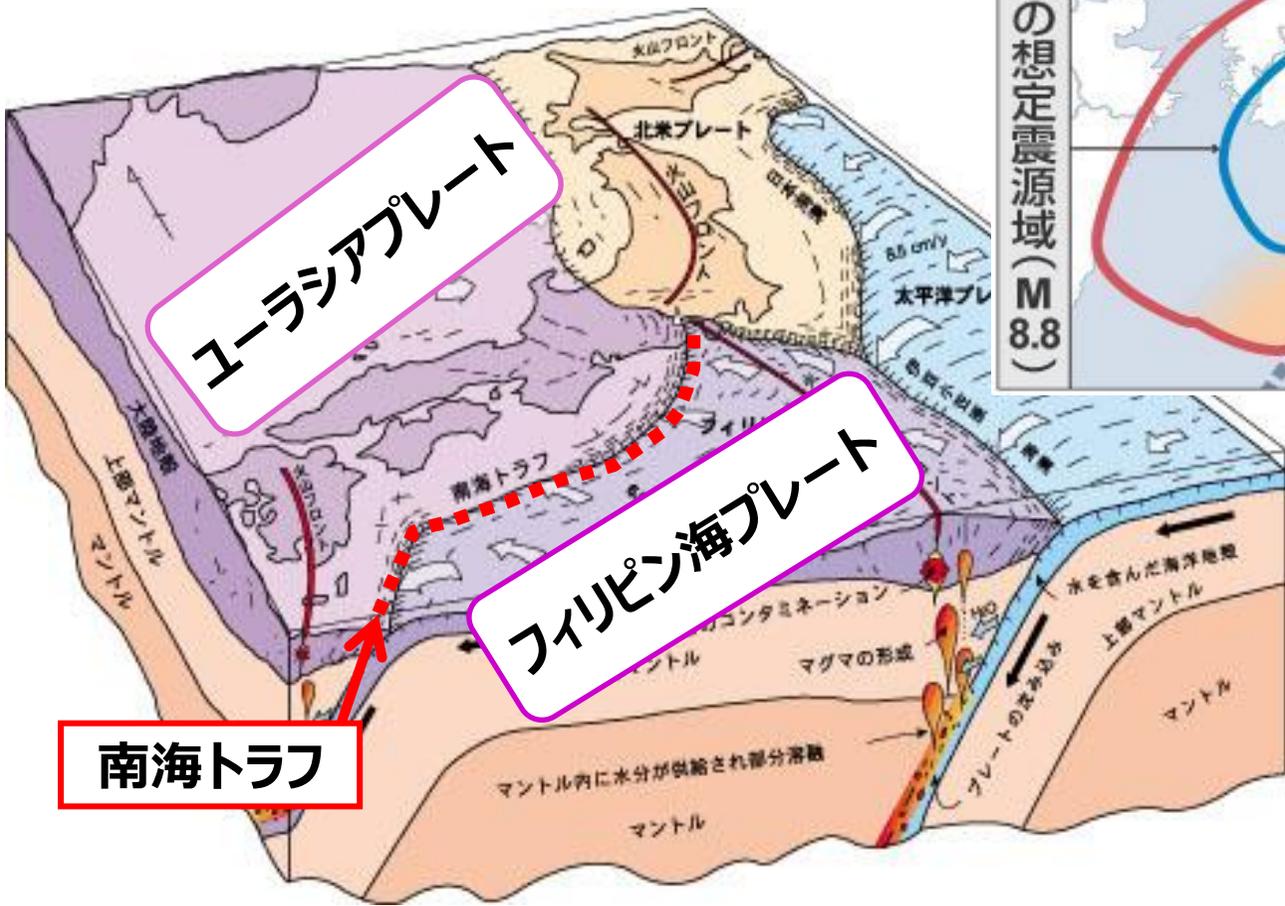
従来の想定震源域(M8.8)



ユーラシアプレート

フィリピン海プレート

南海トラフ



# 東海・東南海・南海地震の発生状況



**南海トラフ巨大地震  
今後30年以内に70%の確率で発生**

# 府域の震度分布

## 府域では5強から6強の震度を想定

### 6強



耐震性が高い



耐震性が低い

#### 【震度6強】

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

### 6弱



耐震性が高い



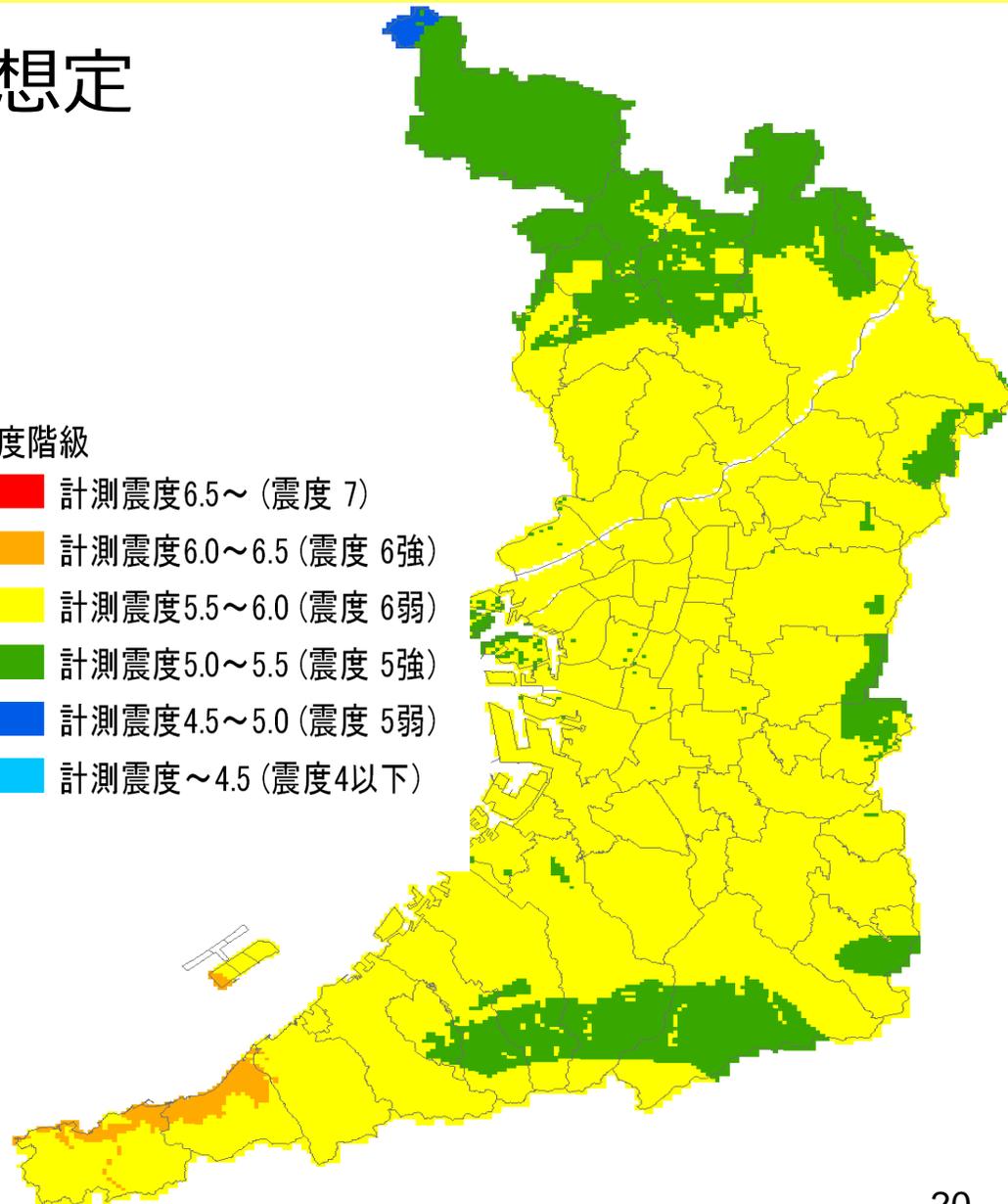
耐震性が低い

#### 【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

#### 震度階級

- 計測震度6.5～(震度7)
- 計測震度6.0～6.5(震度6強)
- 計測震度5.5～6.0(震度6弱)
- 計測震度5.0～5.5(震度5強)
- 計測震度4.5～5.0(震度5弱)
- 計測震度～4.5(震度4以下)



# 人的被害（死者）

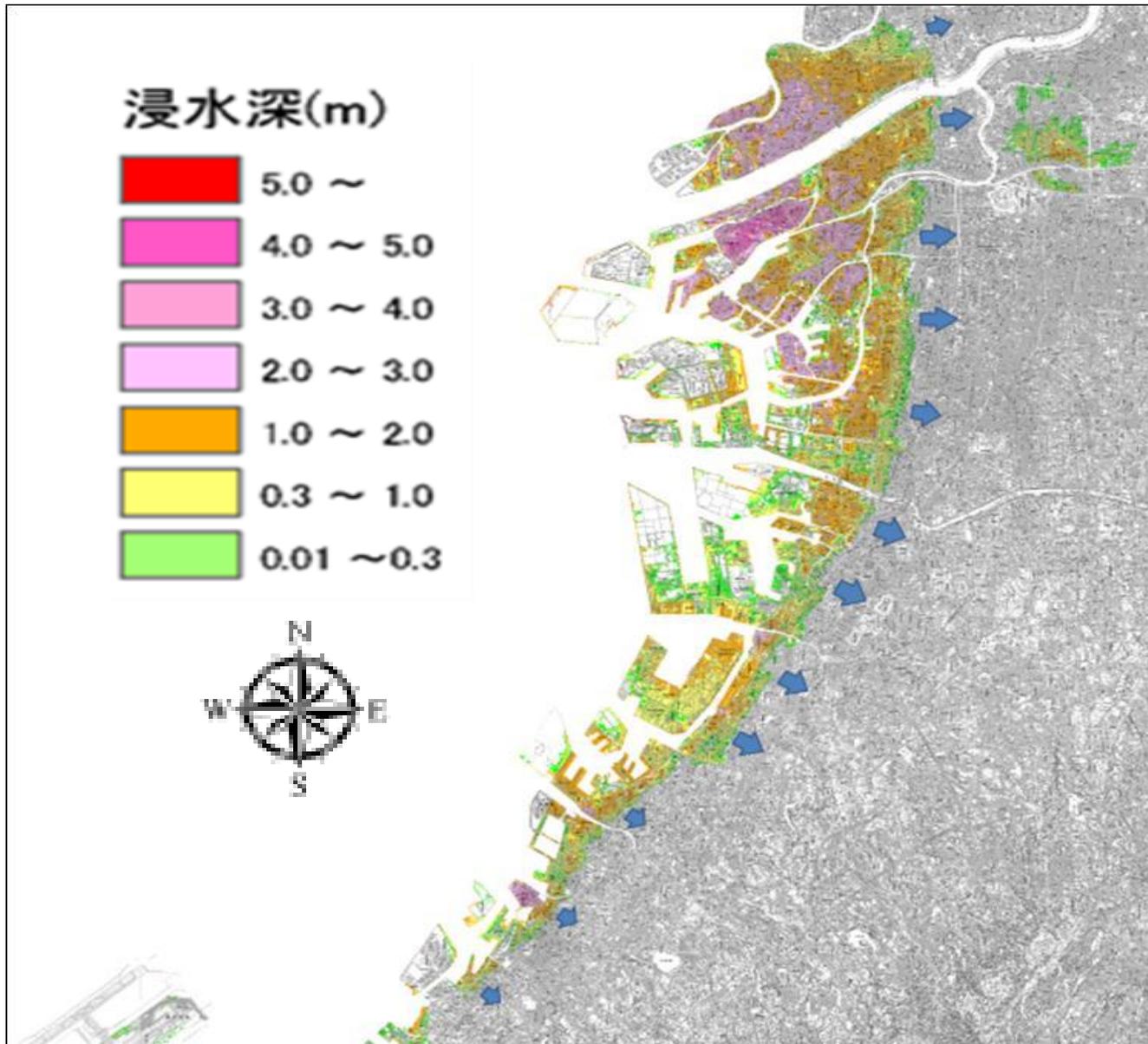
【平成25年10月 大阪府公表】

項 目		条件・定義	大阪府推計 (人)	
総 数	《早期避難率が低い場合》		133,891	
	《避難が迅速な場合》		8,806	
	揺れ [建物倒壊]	冬・18時	735	
	(内 屋内収用物移動・転倒・屋内落下物)		(136)	
	津 波	早期避難率が低い場合	冬・18時	132,967
		(内 堤防沈下等)		(18,976)
		(内 津波)		(113,991)
		避難迅速化	冬・18時	7,882
		(内 堤防沈下等)		(7,882)
		(内 津波)		0
地震火災	冬・18時・ 1%超過風速	176		
急傾斜地	冬・18時	2		
ブロック塀、自動販売機等の転倒、屋外落下物	冬・18時	11		

「早期避難率低」の場合(避難開始が発災5分後：20%、15分後：50%、津波到達後あるいは避難しない：30%)

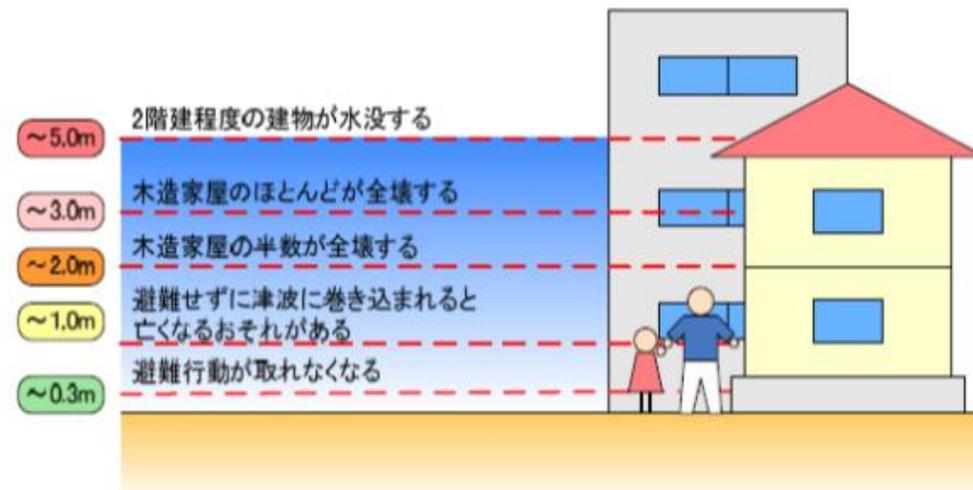
「避難迅速化」の場合(避難開始が発災5分後：100%)

※冬18時の想定のため、避難開始をそれぞれ5分加算



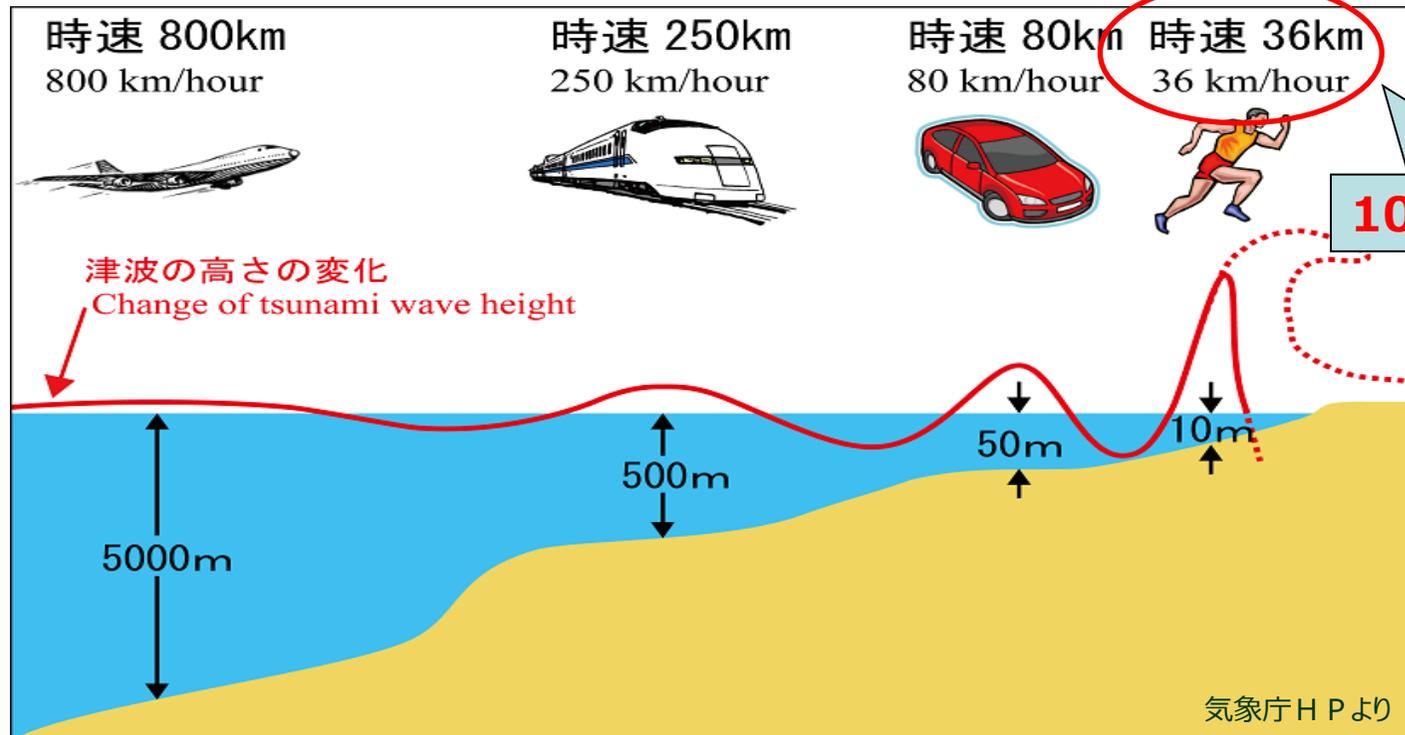
◆浸水面積：約 11,000 ha(府の面積の約5.8% ※府の面積：約190,500ha)

# 津波の浸水深と津波の速さ



浸水深	被害の目安
5 m	2階建ての建物(または2階部分まで)が水没する。
3 m	木造家屋のほとんどが全壊する。
2 m	木造家屋の半数が全壊する。
1 m	津波に巻き込まれると死亡する恐れがある。
0.3 m	大人のすねまで浸かると、動くことができなくなり津波に流される。子供は膝が浸り、津波に流される。

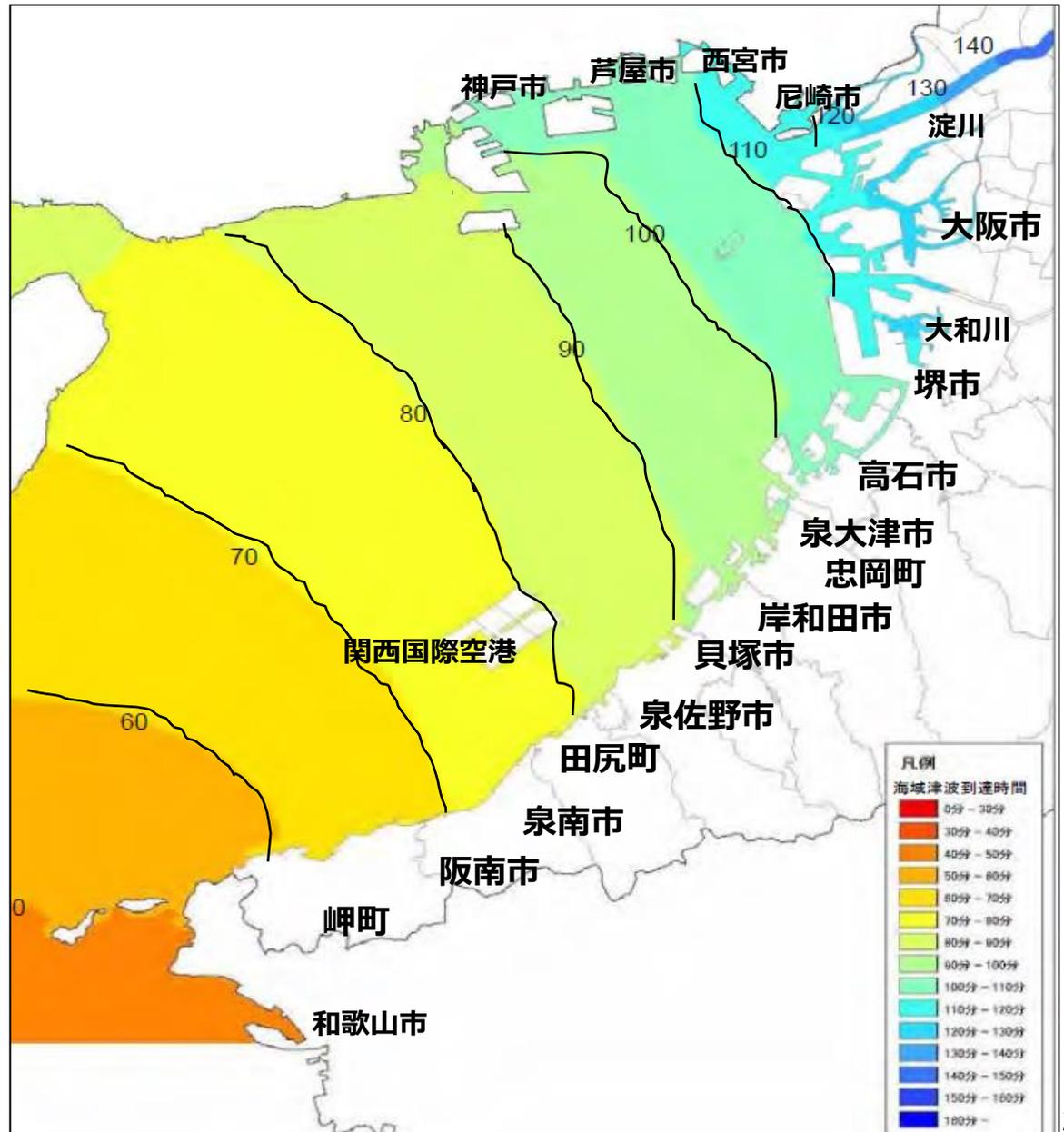
出典：香川県坂出市HP



気象庁HPより

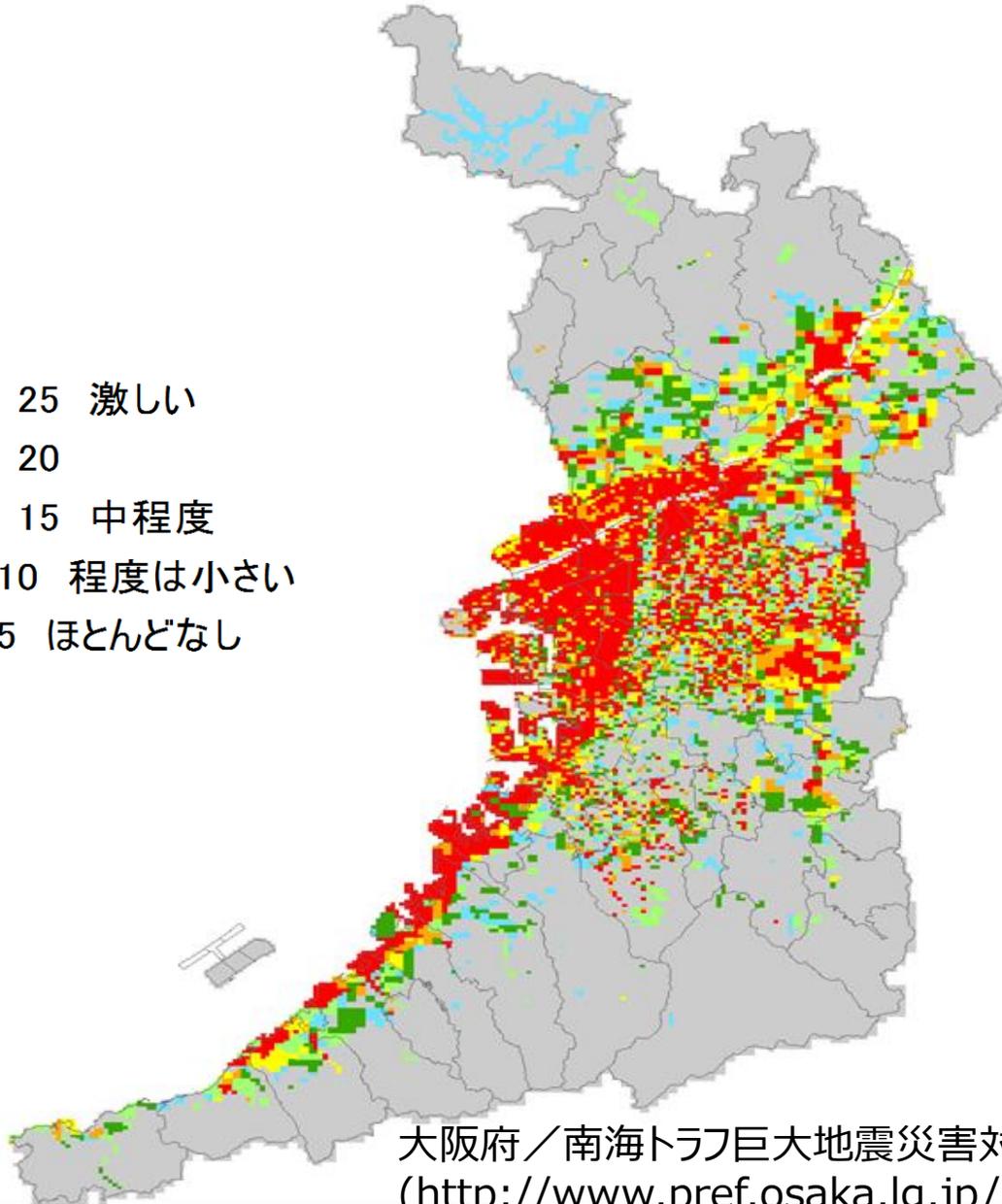
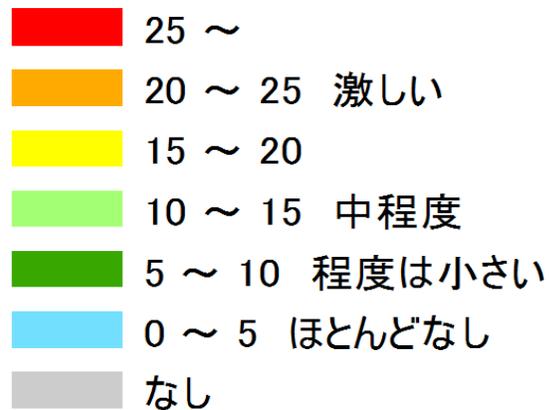
# 津波の到達時間

地震発生から約60分から120分で津波の第1波が大阪府域に到達



# 液状化可能性の想定

PL値



単位：km<sup>2</sup>

PL値25~	278
20~25	84
15~20	85
10~15	111
5~10	112
0~5	86
なし	1,231

※250mメッシュで計算

大阪府／南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会  
(<http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/bukai/>)

# 新・大阪府地震防災アクションプラン（平成27年3月）

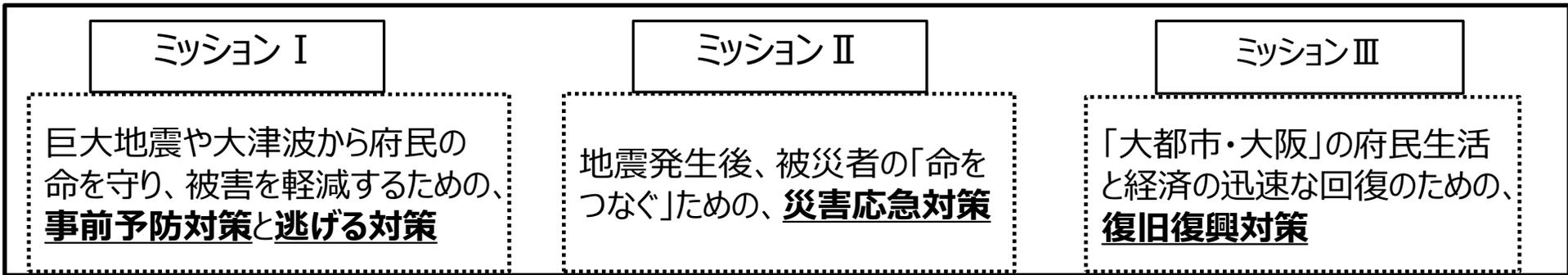
## 基本方針

HP 大阪府地震防災アクションプラン

検索

- **基本目標**：  
「発災による死者数を限りなくゼロに近づけるとともに経済被害を最小限に抑える」を究極の目標として設定
- **取組期間**：  
**10年間**（平成27年度～36年度）  
うち集中取組期間3年間（平成27年度～29年度）
- **被害軽減目標（津波・浸水等）**：  
上記取組期間（3年、10年）において、達成可能と見込む**被害軽減目標**をできる限り定量的に明示

◇ 基本方針に基づき、目標達成に向け、3つのミッションを設定し、100のアクションを位置付け



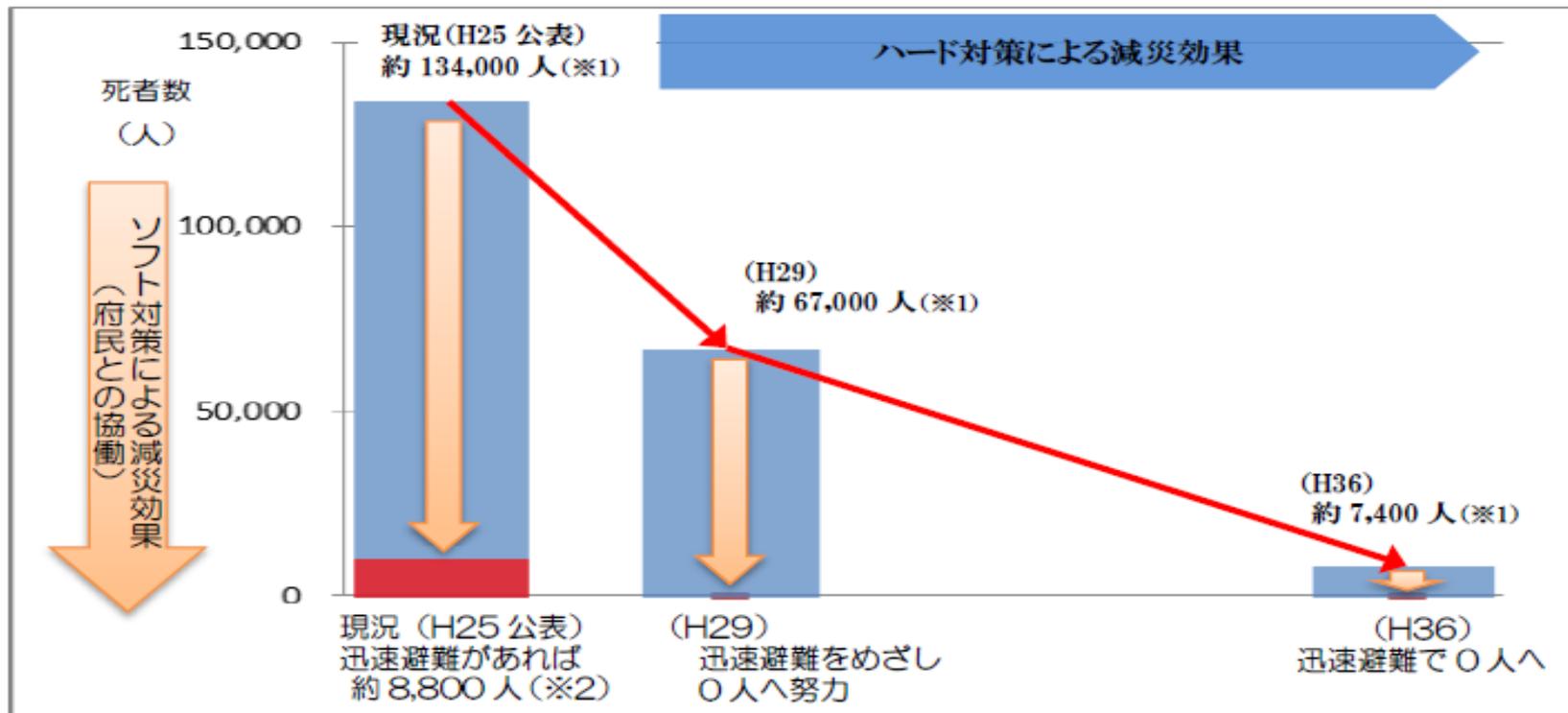
# 被害軽減目標（津波・浸水等）

防潮堤の津波浸水対策の推進等、ハード対策により、  
 集中取組期間：『**人的被害（死者数）半減**』  
 取組期間：『**人的被害（死者数）9割減**』をめざします。  
 加えて、府民のみなさまに迅速かつ安全に避難いただく、  
 いわゆる「逃げる」取組みにより、府民のみなさまとともに、  
 『**人的被害(死者数)を限りなくゼロに近付けること**』をめざします。

□防潮堤の津波浸水対策等の緊急的取組により、  
 ・集中取組期間：『**堤防沈下等による被害(注)をゼロに近づけること**』をめざします。

(注)：地震の揺れによる防潮堤の沈下等により、津波到達前の潮位（朔望平均満潮位）による浸水により想定される被害

【人的被害】

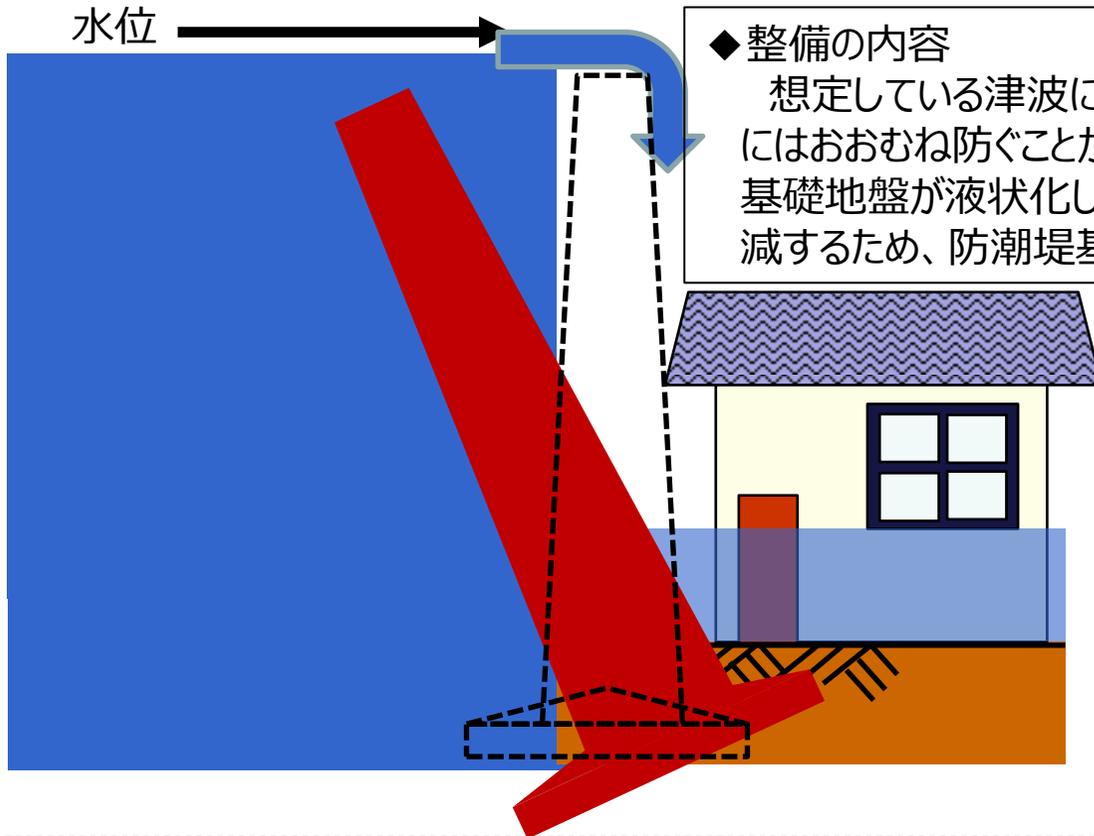


※1 … 「早期避難率低」の場合（避難開始が発災 5 分後:20%、15 分後:50%、津波到達後あるいは避難しない:30%）

※2 … 「避難迅速化」の場合（避難開始が発災 5 分後:100%）

(注) 冬 18 時の想定のため、避難開始をそれぞれ 5 分加算

# 【アクション1】防潮堤の津波浸水対策の推進



## ◆整備の内容

想定している津波に対しては、現在の防潮堤や水門等が機能した場合にはおおむね防ぐことができると考えられるが、南海トラフの地震で防潮堤の基礎地盤が液状化し、防潮堤が変位・沈下することによる浸水被害を軽減するため、防潮堤基礎部の液状化層を固化するなどの耐震対策を実施。



施工中（地盤改良工）



対策完了

## 【アクション内容】

- ・津波による浸水を防ぐため、先行取組みとして、平成26年度から既に防潮堤の液状化対策を実施している。平成28年度までの3年間（集中取組期間中）で、第一線防潮堤のうち、「満潮時に地震直後から浸水が始まる危険性のある防潮堤」の対策を完了。
- ・続いて、平成30年度までの5年間に第一線防潮堤（津波を直接防御）の対策を順に完了させ、平成35年度までの10年間で全対策の完了をめざす。

# 【アクション2】水門の耐震化等の推進

## ○ 耐震補強



## ○ 対策工法例

### 【アクション内容】

- ・地震発生後に、津波を防御する水門機能を確保するため、先行取組みとして、平成26年度から水門の耐震補強工事を実施しており、必要な対策を計画的に推進する。
- ・三大水門（安治川水門・尻無川水門・木津川水門）の将来のあり方についても、検討を行う。

# 【アクション22】地域防災力強化に向けた自主防災組織の活動支援

◆平成29年度は**自主防災組織リーダー育成研修**を府内4箇所で実施。

⇒ 受講者数：450人(予定)（平成28年度：464人）

◆平成26年度から3年計画で、津波浸水想定区域内の沿岸市町が行う自主防災組織への**避難用資機材の配備**を支援。車イスけん引装置、リヤカー、タンカ等の資機材は、避難行動要支援者も参加する避難訓練で活用。

⇒ 配備を支援した自主防災組織：639団体（平成26年度から平成28年度）

◆**平成28年度からは、土砂災害警戒区域等**で活動する自主防災組織に関しても、避難用資機材の配備支援や、避難誘導灯の設置補助を実施。⇒2団体(平成28年度)



平成29年度自主防災組織リーダー育成研修  
10/26 大東市立文化ホール  
11/13 和泉市立人権文化センター  
11/22 堺市立勤労者総合福祉センター  
12/1 大阪府庁

# ③ 自助・共助の重要性と自主防災組織

# 自主防災組織に関する基礎知識

## 自主防災組織とは

- ◆ 昭和30年代、伊勢湾台風(※)の被害を受けて災害対策基本法が昭和36年11月に成立。防災基本計画において、公的な文書の中で「自主防災組織」という言葉が初めて使われた。
- ◆ 平成7年1月の阪神・淡路大震災を契機に「自分たちの地域は自分たちで守る」という観点から自主防災組織の重要性が見直され、各地で自主防災組織の育成に積極的に取り組まれるようになった。

(出典：消防庁「自主防災組織の手引き」)

### 府内43市町村の自主防災組織の数

平成28年4月現在 約2,700団体 (90.0%、全国平均81.7%)

(出典：「平成28年度版消防白書」より)

※1959年(昭和34年)9月の伊勢湾台風災害は、日本の災害史上最大の風水害と言える巨大な規模であって、死者・行方不明5,098人、住家の流失・全壊40,862戸、半壊113,068戸、浸水363,611戸などの激甚な被害をもたらしました。

# 自主防災組織に関する基礎知識

## 自主防災組織の活動内容

### 平常時

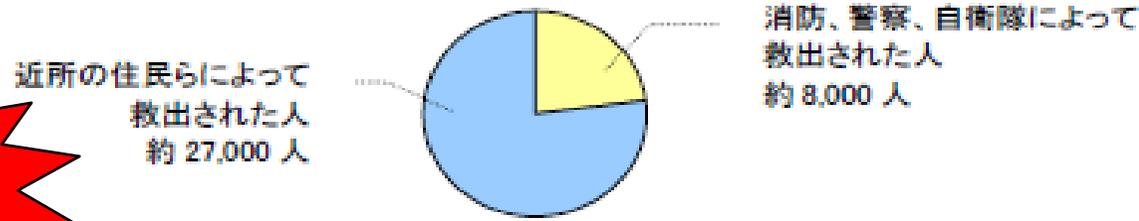
活動内容	例
防災に対する心構えの普及啓発	ミニコミ誌発行、講習会の開催など
災害発生の未然防止	消火器などの防災用品の頒布あっせん、家具の安全診断・固定、建物や塀の耐震診断など
災害発生への備え	避難行動要支援者の把握、指定緊急避難場所・指定避難路・避難所津波避難ビル等の把握、防災資機材や備蓄品の管理など
災害発生時の活動の習得	情報伝達・避難・消火・救急処置・指定避難所開設運営・炊き出し訓練など
復旧・復興に関する知識の習得	

### 災害時

活動内容	例
避難誘導	安否確認、集団避難、避難行動要支援者への援助など
救出・救護	救助用資機材を使用した救出、負傷者の救護など
出火防止・初期消火	消火器や可搬式ポンプによる消火など
情報伝達	地域内の被害情報や避難状況の市町村への伝達、救援情報などの住民への周知など
物資分配	物資の運搬、給食、分配
指定避難所の自主的運営	

# 自助・共助の重要性

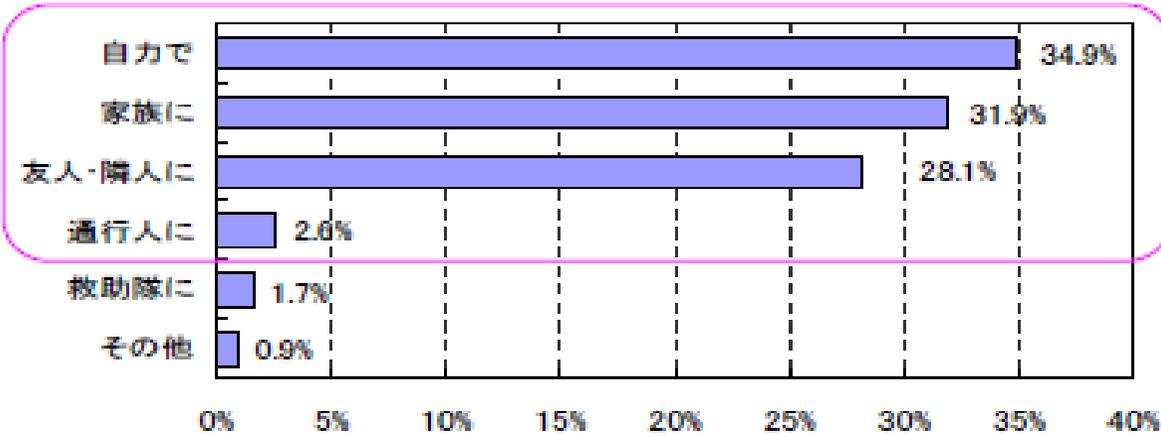
図1 阪神・淡路大震災における市民による救助者数と消防、警察、自衛隊による救助者数の対比



約8割

出典:河田恵昭:大規模地震災害による人的被害の予測, 自然災害科学 Vol.16, N.1, pp.3-14, 1997

図2 生き埋めや閉じ込められた際の救助



出典:(社)日本火災学会:兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書(神戸市内、標本調査)

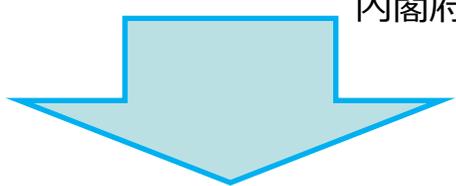
- 阪神・淡路大震災では、**がれきの下から救出された人のうち約8割が家族や近所の住民らなどによって救出された**という報告がある。
- 普段から支え合う関係が、大規模災害における犠牲を最小限に食い止めるために大きな役割を果たしている。

(出典:消防庁「自主防災組織の手引き」)

# 避難所運営へのご協力を

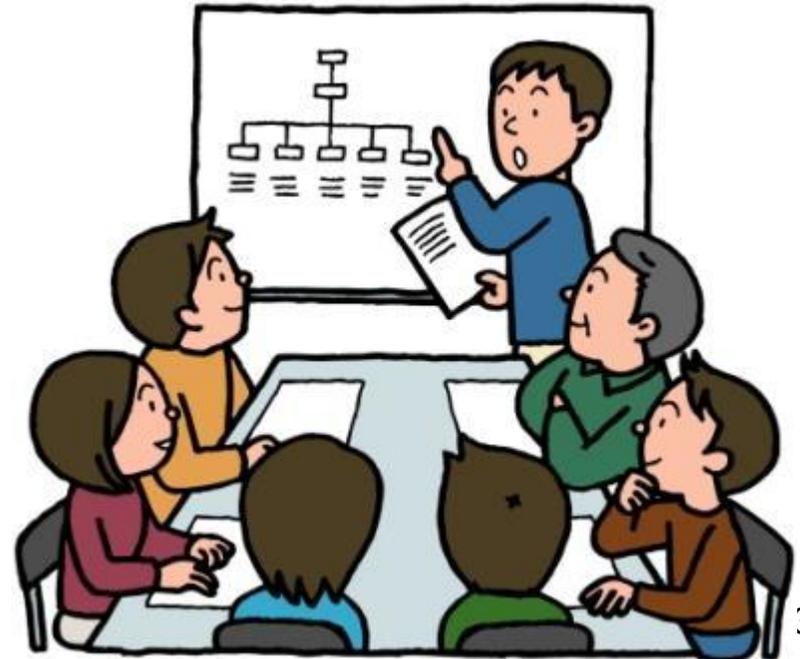
- 避難所運営に市町村職員が忙殺され、復旧や復興への行政事務の実施が困難な事例が発生。  
他方、被災市町村の職員がいない避難所もあり、避難者のニーズを市町村が把握できない事例もあった。
- 被災者の中には様々な支援を受けることが当然と考え、避難所においても全て行政職員で運営を行うことが原則であると考えている人がいる。
- 平常時から、住民による自主運営ができる仕組みづくりができていない避難所があった。  
さらに、自主運営が開始できないまま一定期間が経過した避難所については、自主運営への移行が困難となり、市町村の業務量が増大したまま、その他の災害対応業務等へ影響を与えている場合があった。

内閣府 熊本地震を踏まえた応急対策・生活支援策の在り方について(報告)より抜粋



南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した場合、地方公共団体の職員や消防隊員は救命救急活動に注力せざるを得ないことが予想される。  
できる限り「公助」に依存せず、「自助」「共助」の精神に基づき、地域コミュニティが避難所の開設・運営などを行う体制づくりが課題となっている。

内閣府 地域主役の避難所開設・運営訓練ヒント集 より抜粋



# 避難所運営へのご協力を (出典：避難所運営マニュアル作成指針、平成29年3月大阪府)

- 避難所は災害時等に市町村長が開設・管理・運営し、被災者に安心安全を提供する場所。
- 市町村避難所担当職員、施設管理者、自主防災組織等、地域住民の代表者で構成する避難所運営委員会は、平常時及び災害時において避難所運営に関する様々な活動を行う。
- 障がい者や高齢者、乳幼児、妊産婦等の要配慮者にとっては、急激な生活変化となることから、福祉避難室の設置など、十分な配慮が必要。



## 配慮を要する方への対応

〔例〕妊産婦、乳幼児の場合

- 十分な栄養（栄養食品等）
- 就寝場所から離れた場所に育児室を設置
- 授乳場所、ミルク用の湯、哺乳瓶の清潔
- 離乳食等の乳幼児用食料

など

# 避難所等における男女共同参画

## 避難所等で女性の視点が不十分

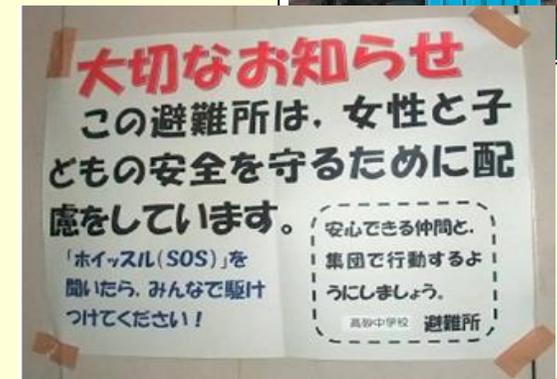


東日本大震災や  
熊本地震での声

- ・女性用の物資が不足
- ・授乳や着替えの場所が無い
- ・避難所の食事準備を割り振られる
- ・仮設住宅の運営は男性のみ
- ・プライバシーの確保の不足・・・ など

## 避難所における取組事例

- 異性の目線が気にならない物干し場、更衣室、休養スペース等の設置
- 授乳室
- 安全で行きやすい場所の男女別トイレ(鍵を設置)・入浴設備の設置
- 混みやすい女性用トイレの数を多めに設置
- 女性用品(生理用品、下着等)の女性の担当者による配布
- 配偶者からの暴力の被害者等の避難者名簿の管理徹底
- 避難者による食事作り・片付け、清掃等の役割分担
- 男女両方の相談員の配置
- 防犯ブザーの配布 など



出典：内閣府男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針

# 避難所運営へのご協力を ～茨木市避難所再現訓練～

## ● 指定避難所【再現】訓練

- ・東日本大震災において、実際に避難所運営の経験を持つ講師により、当時の事例を再現。地域の自主防災会や消防団、学生ボランティア、小中学生などが参加。
- ・サイレンとともに訓練を開始、一時避難場所へ避難し、避難所では班分けに基づき、物資班や警備班などに分かれた。様々な世代を配置し、多様な意見がでるよう工夫した。



## ● 活動の成果

・当時の状況を追体験することで、被災経験がない方々に災害時の状況や段取りを具体的にイメージしてもらうことができた。

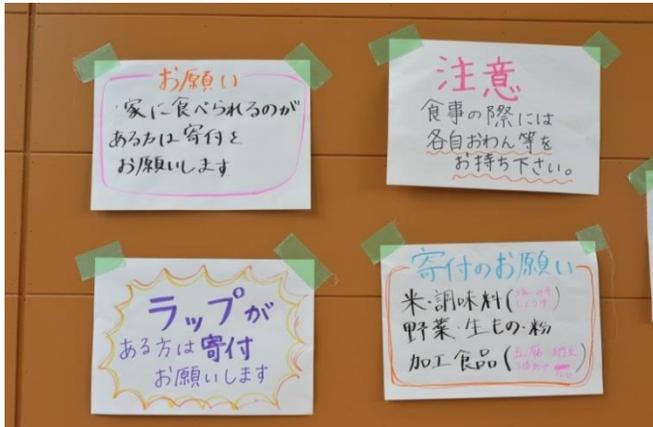
・「今後は避難所の開設や運営の訓練も、今日の経験を生かしてぜひ取り入れたい。地域主体の防災・減災意識を高めることができた」との声があった。

## 【参考】

市町村及び自主防災組織等における

防災・減災に係る特色ある取組についての事例集

(府HP <http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/keihatsu/sosiki.html>)



HP

大阪府 自主防災組織 事例集

検索

# 避難行動要支援者

## (避難行動要支援者名簿)

- 避難行動要支援者とは、災害発生時に自ら避難することが困難な者で、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するもの。
- 市町村は、地域防災計画の定めるところにより、避難行動要支援者について避難の支援、安否の確認その他の避難行動要支援者の生命又は身体を災害から保護するために必要な措置を実施するための基礎とする名簿を作成しておかなければならない。

(H25改正・災害対策基本法第49条の10／平成26年4月施行)

## (避難行動要支援者の要件例)

- ・高齢者 ・身体障がい者 ・知的障がい者
- ・精神障がい者 ・難病患者 ・乳幼児 ・妊産婦
- ・自ら掲載を希望した者 等

## (名簿の記載事項／法第49条の10第2項)

- ・氏名 ・生年月日 ・性別 ・住所又は居所
- ・電話番号その他の連絡先
- ・避難支援等を必要とする理由 等

## 名簿の活用方法

- 名簿は、本人の同意を前提に、平常時から避難支援等関係者※に提供。
- 発災時には、名簿情報をもとに円滑かつ迅速な避難支援等を実施（同意の有無に関わらず）。
- 避難支援等関係者が適正な情報管理を図るよう、市町村において適切な措置を講ずる。

※避難支援等関係者・・・消防機関、民生委員、自主防災組織など。

## ⑤府民の皆さまにお願いしていること

### 「逃げる」の徹底

「勇気を持って、命を守る行動をする」

- 正しい知識
- 正しい情報
- 正しい行動 の“習慣化”を

# 職場や家庭では

みんなで災害時の対応、連絡方法などを  
確認しておく

## 話し合っておくべきこと（例）

- ①自分たちの住む地域・職場・通勤（通学）経路の  
リスクを確認 ⇒ **ハザードマップを調べる**
- ②避難所や広域避難場所への経路確認（昼・夜）
- ③家族や従業員との連絡方法 ⇒ **メール・SNS等を活用する**
- ④備蓄品と保管場所の確認
- ⑤非常持出品の準備（季節ごと）
- ⑥生活再建のための備えについて など

# 地域での標高表示・津波避難ビル



堺市総合福祉会館

# 災害リスクの把握 —府管理河川の洪水リスク表示図—

## ■「洪水リスク表示図」

<http://www.river.pref.osaka.jp/>

大阪府 洪水リスク表示図

発生確率規模が  
選択可能

- 10年に一度の降雨
- 30年に一度の降雨
- 100年に一度の降雨
- 200年に一度の降雨

地図表示情報

- 背景に地形図を表示
- 背景に航空写真を表示
- 行政界
- 府管理河川
- 主要道路及び鉄道(駅)
- 市役所等
- 破堤地点
- 溢水地点

凡例

- 破堤地点
- 溢水地点
- 水位計
- 雨量計
- ライブカメラ
- 危険度
  - 危険度I
  - 危険度II

破堤・溢水  
点を表示

このほかに、各市町村が作成するハザードマップがある。

洪水や土砂災害、津波災害などのリスクとともに、避難に関する情報等が記載されている。

地先危険度  
(100年に一度の雨を想定)

河川名	芥川	女瀬
危険度	II	I
浸水深	1.053 m	0.303 m
破堤点	表示	
説明	-	-
河川別	表示	表示
1/10改修計画	-	-
1/30改修計画	-	-
1/100改修計画	-	-

選択したメッシュの危険度浸水深等が河川別に表示

地先に影響する破堤点を表示

さらに、影響する破堤点をクリック

[表示]ボタンを押すと選択した河川が100年の危険度・浸水深が地図上に表示されます。  
【高槻市のハザードマップを開く】

# 避難情報に注意

市町村から発令される避難情報には、以下のものがあります

## 避難準備・高齢者等避難開始

●いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。

●避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方等)は避難を開始しましょう。



## 避難勧告

●避難場所へ避難をしましょう。

●地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。



## 避難指示 (緊急)

●まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。

●外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。



必ずしも、この順番で発令されるとは限らないのでご注意ください。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

# 避難情報の入手と活用 —河川カメラの活用—

パソコンやスマートフォンから河川の**ライブ画像**が確認できます！

自然災害に対しては「**自らの判断で避難行動をとること**」が原則です。どこでどのような情報を入手できるか、日頃から確認しておきましょう。大阪府では、みなさんの避難行動につなげるため、平成27年度より河川の状況がライブでわかる**“河川カメラ”**の設置をすすめています。災害時には、河川の状況などを確認の上、適切に避難しましょう。

## ①パソコンやスマートフォンで検索

**パソコンから**

大阪府 画像公開システム **検索**

URL: <http://www.osaka-pref-rivercam.info/>



**スマートフォンから**

QRコード



## ②地図上から見たいカメラをクリック

府下全域で65台の河川カメラが閲覧できます  
(平成29年2月末現在)



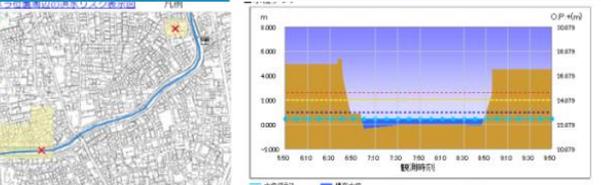
地域からも選択できます

- ・北大阪
- ・大阪市内
- ・東部大阪
- ・南河内
- ・泉州
- ・府下全域

## ③河川の状況が確認できます



観測地点	観測時刻	観測地点	観測時刻
池田土木事務所 千里川 春日橋	6:09	池田土木事務所 千里川 春日橋	6:09
観測地点	観測時刻	観測地点	観測時刻
観測地点	観測時刻	観測地点	観測時刻



# マルチな防災情報を得るには…

## 防災情報を手軽にあなたのもとへ 「防災情報メール」に登録をお願いします。



携帯メールアドレスを「防災情報メール」に登録していただくと、

- 特別警報、大雨洪水警報などの気象情報、台風  
地震・津波情報、土砂災害警戒情報、水防警報情報
- 避難勧告・指示の避難情報、避難所開設情報
- その他緊急情報（国民保護情報等）  
など、さまざまな防災情報を受け取ることができます。

受け取る情報については、市町村を限定した条件設定が可能です。



### 登録方法は？ 登録はとても簡単です！

「touroku@osaka-bousai.net」宛て（右のQRコードを読み取ると入力が省略できます）  
に空メールを送信すると、自動的にご案内メールをシステムから送信します。  
ご案内のメールの内容を確認いただき、登録を行ってください。  
なお、登録料は無料ですが、メール受信にかかる通信料は必要です。



# 災害時の安否確認方法（例）

- 災害伝言ダイヤル 1 7 1（NTT）
- web 1 7 1（NTT）
- 災害用伝言板（携帯各社）
- 災害用音声お届けサービス（携帯各社）

災害時に安否確認ができるサービスです。利用方法など詳しくは、各社ホームページをご覧ください。  
また、「1 7 1」「web 1 7 1」「災害用伝言板」は下記の期間に体験利用ができます。

## ※体験利用できる日

- ・毎月1日・15日
- ・正月三ヶ日（1月1日～1月3日）
- ・防災週間（8月30日～9月5日）
- ・防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）

熊本地震では、

「携帯大手3社によると、14日と16日の大きな地震の発生直後から電話回線が混線し、つながりにくくなった。停電で基地局にトラブルが生じて通話に支障が起きた可能性もある。一方、S N Sが使うインターネット回線に目立った障害はなく、ラインやツイッターでの通信はほぼ可能だった。

中でも東日本大震災後に普及した無料通信アプリ『LINE(ライン)』は震災の教訓から付け加えた機能『既読』や多人数でやり取りを共有できる特性が活かされた。」

（平成28年5月7日 毎日新聞）

# 家庭での備蓄・非常時の持ち出し

## 家庭での備蓄

➤ 最低3日分！ できれば1週間分の備蓄を！



熊本地震では、家庭における水や食料の備蓄が十分ではなく、前震直後は県や市町村の備蓄で対応したが、本震後は18万人を超える避難者が一斉に発生し、物資が不足。【H28.12熊本県による検証報告より】

- 大規模災害時には、食料供給の減少が予想されるほか、食料品の需要が一時的に集中し、品薄状態や売り切れ状態になるおそれがある。
- 避難所までの道路網の寸断等により、自宅での避難に備える必要がある。

＜備蓄量の目安＞

食料品等：最低でも3日分、できれば1週間分程度

- ✓ 水の目安は、1人当たり1日3リットル
- ✓ 米や缶詰、鍋等のほか、熱源として、カセットコンロ、ボンベも
- ✓ 普段使いの食料品を少し多めに「買い置き」し、消費した分は新しく買い足す【家庭内循環備蓄方式（ローリングストック方式）】

＜出典：農林水産省「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」より作成＞

## 非常時の持ち出し品

- 飲料水、携帯食、懐中電灯など
- これだけは持っていたい、という最低限の備え



## チェックリストも活用！

減災グッズを備えよう！

- ① いつもケータイ
- ① 非常持ち出し
- ② 安心ストック

チェックリスト



活用版

今回チェックした日： 年 月 日

次回チェックする予定の日： 年 月 日

family

name

新しい機能が必要な時はダウンロードしよう！ [www.dri.ne.jp](http://www.dri.ne.jp)  
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

減災グッズチェックリストは、  
阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センターホームページ  
(<http://www.dri.ne.jp/>)  
からダウンロードできます

# 大阪の防災関連施設のご紹介

## 津波・高潮ステーション

(<http://tsunami-osaka.jp/>)

大阪市西区江之子島2-1-64

大阪で過去に起こった高潮や  
南海トラフ巨大地震津波  
発生時の対応などを学ぶことが  
できる施設です。

## 大阪市立阿倍野防災センター

(<http://www.abeno-bosai-c.city.osaka.jp/>)

地震直後の町並みなどを体感し、  
消火・避難・救助といった一連の  
行動をリアルに体験することが  
できる施設です。

## 大阪府立狭山池博物館

(<http://www.sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>)

日本最古のダム式ため池、  
狭山池の土木遺産を  
そのまま保存・展示しています。

津波・高潮ステーション  
Tsunami and Storm Surge Disaster Prevention Station

日本語

English

簡体中文

한국어



「津波・高潮ステーション」は、大阪府西大阪治水事務所が所管する防潮堤や水門の津波・高潮防ぎ止施設の一元管理を行う「防災棟」と、市民の防災意識の向上を目的とした「展示棟」を併せ持つ施設です。  
「展示棟」はかつて大動を収めた高潮や、近い将来必ず大動を襲うと言われている東南海・南海地震と津波についての正しい知識を習得していただくとともに、地震、津波発生時の対応などを学べる、広く開かれた施設です。  
“見て、聞いて、触って”楽しく学び、災害への備えの大切さを心に刻んでください。



○震度7体験コーナー



# 大阪への万博誘致にご支援・ご協力を！！

大阪・関西は、2025年万博の誘致をめざしています。

この万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」を

テーマに掲げ、一人一人が心身ともに豊かさを感じられる社会の実現をめざします。

万博誘致の実現に向け、皆様のご支援・ご協力をよろしく  
お願いいたします。

